

## 脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究

京都府立医科大学脳神経外科では、脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究に協力しております。

### 研究の目的

脳卒中の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより脳卒中センター認定および環境の変革に伴う診療体制および施設間連携体制を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています。

### 研究の方法

#### ・対象となる方について

2019年1月1日から2021年12月31日までの間、京都府立医科大学附属病院を受診され、脳卒中急性期の治療を受けられた患者さん。

#### ・研究期間： 研究許可日から2024年3月31日

#### ・方法

診療録より下記のデータを取得し、患者さんを直接特定できる情報を削除し匿名化したうえで研究代表機関へ提出します。

〔取得する情報〕

年齢、性別

病名、重症度

治療(薬物、手術など)の内容

臨床検査値、CT等の画像所見

治療経過 など

#### ・外部への情報の提供

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科へ提出し更に詳しい解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

### ・個人情報の取り扱いについて

あなたのカルテの情報をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルは入院された施設から、九州大学大学院医学研究院脳神経外科学並びに国立循環器病研究センターの研究事務局に提出されることはありません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、京都府立医科大学脳神経外科 南都昌孝の責任の下、厳重な管理を行います。

### 情報の保存および二次利用について

この研究において得られたあなたの診療情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、京都府立医科大学 脳神経外科学 南都昌孝の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られたあなたの情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

### 研究組織

研究代表者 神戸市立医療センター中央市民病院 坂井信幸

研究協力者 京都府立医科大学 脳神経外科教室 教授 橋本直哉

学内講師 南都昌孝

### お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学脳神経外科

職・氏名 学内講師・南都昌孝

電話：075-251-5541